

アイコンについて

院試 院試に採用

単位 単位として認定

団体 団体申込で受験

対抗戦 大学対抗戦に参加

委託 委託会場として実施

北海道

旭川大学 経済学部

第 15 回よりミクロ・マクロを団体受験。

団体

[旭川大学の Web サイト](#)

小樽商科大学 商学部／商学研究科

学部生に受験を推奨。大学院入試に「ERE」を導入。

院試

第 1 回 ERE で全国第 4 位の成績を修めた学生に対し、「大学の名誉を著しく高めた者」として ERE では初の学長表彰を実施。

2003 年 7 月より、大学院経済コースの学力試験選抜において、従来の専門科目の受験による選考方法に加え、ERE の成績結果をもって専門科目の試験に代用。

これにより同専攻の学力検査は、(1) 専門科目の受験による判定、(2) 専門科目と ERE の成績結果を比較のうえ判定、(3) ERE の成績結果による判定とした。

[小樽商科大学の Web サイト](#)

札幌学院大学 経済学部

学部生に学習目標として受験を推奨。

団体

委託

第 13 回より団体申込を実施。

[札幌学院大学の Web サイト](#)

札幌大学 経済学部

第 13 回大学対抗戦から参戦。

団体

対抗戦

[札幌大学の Web サイト](#)

北海道大学 農学部

ゼミ生の有志で第 13 回大学対抗戦から参戦。

対抗戦

[北海道大学の Web サイト](#)

北海道教育大学旭川校 教員養成課程

第 26 回大学対抗戦より参戦。

団体

対抗戦

委託

[北海道教育大学旭川校の Web サイト](#)

酪農学園大学 酪農学部

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

団体

委託

自主ゼミ方式で放課後などを活用して公務員試験対策・ERE 受験対策講座を実施。

継続受験によるレベルアップがゼミの伝統に。

[酪農学園大学の Web サイト](#)

青森

弘前大学 人文学部

[単位](#)[委託](#)[団体](#)

学習の目標として学部生に広く受験を推奨。

公務員試験と連動した ERE 対策講座(2 単位)を実施。対策強化と継続受験によるレベルアップを目指す。

[弘前大学の Web サイト](#)

岩手

岩手県立大学 総合政策学部

[単位](#)[委託](#)

学部生に学習目標として受験を推奨。

第 12 回より団体申込を実施。

[岩手県立大学の Web サイト](#)

宮城

東北大学 経済学部

[団体](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

第 13 回より団体申込を実施。

ゼミ生の有志で第 14 回大学対抗戦から参戦。

[東北大学の Web サイト](#)

福島

福島大学 経済経営学類

[団体](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習の目標として受験を推奨。

ミクロやマクロを扱う複数ゼミで団体申込。一ゼミでは「ERE ミクロ・マクロ」の受験を必須化。成績優秀者は学類長表彰。

第 10 回大学対抗戦から参戦。

[福島大学の Web サイト](#)

茨城

筑波大学 第一学群社会学類

経済学サークルの有志で大学対抗戦へ参戦。

[対抗戦](#)

大学対抗戦への参戦が先輩から後輩へ継承。第 3 回「Tsukuba Economics Studies」が準優勝。個人賞受賞。

[筑波大学の Web サイト](#)

栃木

宇都宮大学 農学部

団体

委託

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。ゼミ生の有志で大学対抗戦に参戦。

農業経済学科のゼミ内では12月の受験が定例化。継続受験によるレベルアップを目指す。

[宇都宮大学の Web サイト](#)

群馬

関東学園大学 経済学部

団体

第21回EREより団体受験。

[関東学園大学の Web サイト](#)

群馬大学 社会情報学部

団体

委託

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

ゼミ内では7月・12月の継続受験が定例化。レベルアップを目指す継続受験がゼミの伝統に。

[群馬大学の Web サイト](#)

高崎経済大学 経済学部

団体

対抗戦

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

ゼミ生で大学対抗戦へ参戦。

ゼミ内では3年生の12月全員受験が定例化。複数チームを擁しての大学対抗戦への参戦がゼミの伝統に。個人賞受賞歴多数。

学内でも受験を推奨・バックアップ。優秀な成績を修めた学生に対し、学長表彰を実施。

[高崎経済大学の Web サイト](#)

埼玉

跡見学園女子大学 マネジメント学部

対抗戦

ゼミ生による大学対抗戦への参戦が恒例化。

[跡見学園女子大学の Web サイト](#)

埼玉大学 経済学部

対抗戦

公認会計士サークル・ゼミの有志で大学対抗戦へ参戦。

大学対抗戦への参戦がサークルの伝統に。複数のチームを擁して参戦。第2回「ジュニア会計士同好会」が準優勝。個人賞受賞歴多数。

学内でも受験を推奨・バックアップ。優秀な成績を修めた学生に対し、学長表彰を実施。

[埼玉大学の Web サイト](#)

東京国際大学 経済学部

[団体](#)[委託](#)

学部生に広く受験を推奨。

第 13 回より団体申込を実施。

成績優秀者には、奨励金を支給。

[東京国際大学の Web サイト](#)

千葉

明海大学 経済学部

[単位](#)[団体](#)[委託](#)

学部生に広く受験を推奨。

学内ではさまざまなサポート体制が充実。

学内では実学系の資格取得をサポートする体制が充実。一定ランク以上の取得による単位認定を実施。

全学科共通で優秀な成績を修めた学生に対し、表彰を実施。取得ランク別に奨学金を支給。

学内推薦枠で大学院進学を希望する学生には受験を奨励。経済学研究生は「ERE/ERE ミクロ・マクロ」の受験が必須。

[明海大学の Web サイト](#)

麗澤大学 経済学部

[団体](#)

第 20 回より団体受験

経済学部では 2011 年度から E R E 受験を想定した科目を開講し、第 20 回 E R E より団体受験。

[麗澤大学の Web サイト](#)

神奈川

神奈川大学 経済学部

[団体](#)

学習の目標として、ゼミ生に受験を推奨。

一定ランク以上の優秀な成績を修めた学生に対して表彰を実施。

[神奈川大学の Web サイト](#)

関東学院大学 経済学部

[団体](#)

学習の目標として、ゼミ生を中心に広く受験を推奨。

受験対策学習会を実施。

[関東学院の Web サイト](#)

専修大学 経済学部

[対抗戦](#)

大学対抗戦参加常連校

エクステンションセンターを窓口在大学対抗戦を取りまとめ、4 連覇の実績。

[専修大学の Web サイト](#)

横浜国立大学 国際社会科学府経済学専攻

院試

大学院入試に ERE を導入。

ERE または ERE ミクロ・マクロで一定ランク以上の場合、専門科目試験を免除。

[横浜国立大学のwebサイト](#)

東京 23 区

青山学院大学 経済学部/経済学研究科

団体

受験料の全額学部負担を実施。

大学院入試に ERE を導入。

第 23 回より ERE ミクロ・マクロの受験料の全額学部負担を実施。

経済学研究科公共・地域マネジメント専攻において、ERE ミクロ・マクロのランクが B + 以上の成績をとっている場合は小論文を免除。

[青山学院大学の Web サイト](#)

お茶の水女子大学 生活科学部

団体

学部生に受験を推奨。団体受験が恒例化

[お茶の水女子大学の Web サイト](#)

学習院大学 経済学部/経済学研究科

院試

学部生に受験を推奨。

2008 年度入学者より大学院入試へ ERE を導入。

2008 年度入学者より大学院経済学研究科の入試において、従来の筆記試験方式に加え、「ERE方式」を採用。「ERE ミクロ・マクロ」の成績が一定条件を満たした場合に、専門科目の試験を免除。

[学習院大学の Web サイト](#)

慶應義塾大学 経済学部

対抗戦

経済学サークルの有志で対抗戦へ参戦。

大学対抗戦への参戦が先輩から後輩へ継承。個人賞受賞。

[慶應義塾大学の Web サイト](#)

上智大学 経済学部/経済学研究科

院試

2011 年度大学院入試より ERE を活用。

大学院経済学研究科経済学専攻で、2011 年度より博士前期課程入試において、ERE または ERE ミクロ・マクロの成績が A + 以上の場合、専門科目の筆記試験を免除。

[上智大学の Web サイト](#)

拓殖大学 政経学部/経済学研究科

[院試](#)[対抗戦](#)

大学院入試へ「ERE」を導入。

2007 年度より大学院経済学研究科の一般入試に「ERE/ERE ミクロ・マクロ」を導入。

第 28 回大学対抗戦から参戦。

[拓殖大学の Web サイト](#)

東京大学 農学部 / 公共政策学教育部

[対抗戦](#)

学部生の有志で大学対抗戦へ参戦。

大学対抗戦への参戦が伝統に。第 9 回「チーム農業」が準優勝。第 26 回、第 27 回「経済学愛好会」が優勝。個人賞受賞歴多数。

[東京大学の Web サイト](#)

東京理科大学 経営学部/経営学研究科

[院試](#)

2016 年度より、大学院入試で採用。

2016 年度より、経営学研究科の一般試験において、ERE ミクロ・マクロの成績が B + 以上（過去 3 年前以降の成績）で専門科目の試験を免除。

[東京理科大学の Web サイト](#)

東洋大学 経済学部

[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

ゼミ生で大学対抗戦へ参戦。

複数チームを擁しての大学対抗戦への参戦がゼミの伝統に。

[東洋大学の Web サイト](#)

日本大学 経済学部

[団体](#)[委託](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

学部生の有志で大学対抗戦へ参戦。

第 12 回より団体申込を実施。サブゼミとして、受験対策学習会を開講。

第 8 回よりゼミ生の有志で大学対抗戦へ参戦。個人賞受賞。

[日本大学の Web サイト](#)

武蔵大学 経済学部

[団体](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

ゼミ生の有志で大学対抗戦へ参戦。

受験対策学習会を実施。ERE の成績上位者を大学として表彰し、奨学金を授与。

第 7 回よりゼミ生の有志で大学対抗戦へ参戦。

[武蔵大学の Web サイト](#)

武蔵野大学 経済学部

[団体](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。大学対抗戦への参戦が恒例化。

第 29 回よりミクロ・マクロを団体受験。大学対抗戦では個人賞受賞者も。

[武蔵野大学の Web サイト](#)

明治大学 政治経済学部

[団体](#)[対抗戦](#)

学部生に広く受験を推奨。受験料の全額学部負担を実施。

政治経済学部ではサポートプログラムにより受験料の学部全額負担を実施。リバティ・アカデミーで経済学検定試験対策の公開講座を開講。ゼミ生の有志で第13回大学対抗戦から参戦。

[明治大学の Web サイト](#)

早稲田大学 政治経済学部/経済学研究科

[院試](#)[対抗戦](#)

2009年度入学者より大学院入試へ ERE を導入。

大学対抗戦への参戦を伝統とするサークルが多数。

2009年度入学者より大学院経済学研究科修士課程一般入試において、「ERE/ERE ミクロ・マクロ」のいずれかの成績が一定条件を満たした場合に、経済学の筆記試験を免除。

政治経済学部の学生を中心に、常に複数チームが大学対抗戦へ参戦。政治・経済・法律を学問する総合学術サークル「政治経済研究会」が圧倒的な強さを誇る。第1回「ERENet」(新潟大学)と同点優勝。第6回では4連覇を達成。第7・8回準優勝。第3・4回の連覇達成に対し、早稲田大学より『早稲田学生文化賞』を受賞。個人賞受賞歴多数。

[早稲田大学の Web サイト](#)

東京都下

東京都市大学 都市教養学部/社会科学研究科

[団体](#)[院試](#)

2017年2月実施大学院入試より、ERE を採用。

2017年2月実施入学試験より、社会科学研究科経営学専攻の一般試験において、ERE、ERE ミクロ・マクロの成績がB+以上で筆答試問受験を充足。

[東京都立大学の Web サイト](#)

成蹊大学 経済学部

[単位](#)[院試](#)

履修の目標として学部生に受験を推奨。大学院入試へ ERE を導入。

一定以上の偏差値を取得した場合は、関連する科目の単位認定を実施。「ERE ミクロ・マクロ」の利用が活発に行われている。

2009年度入学者より大学院経済経営研究科の一般入試において、ERE/ERE ミクロ・マクロの成績が一定条件を満たした場合に専門科目試験を免除。

[成蹊大学の Web サイト](#)

創価大学 経済学部

[団体](#)[委託](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

経済学サークルの有志で大学対抗戦へ参戦。

第8回より大学対抗戦で経済学サークル「創価大学経済学理論同好会」が11連覇の実績。第29回で6年ぶりの優勝。

個人賞受賞歴多数。

[創価大学の Web サイト](#)

中央大学 経済学部

[団体](#)[対抗戦](#)

学部生に広く受験を推奨。

経済学会の有志で大学対抗戦へ参戦。

創立100周年を迎えた際に、学部では新たな発展に向けた改革の7番目にEREへの取組を掲げた。「基礎学力を測る・底上げをしていく」という意味でEREを有用な位置付けに捉え、活用。受験者数のさらなる拡大と得点力の向上を目指す。2006年度よりA+以上が「給付金」(自己申請)の一要件に。

大学対抗戦への参戦が、先輩から後輩へ継承。個人賞受賞。

[中央大学の Web サイト](#)

一橋大学 経済学部/国際・公共政策教育学部

[院試](#)[対抗戦](#)

「公共経済プログラム」第1次選抜の筆記試験に「ERE」を代用。

経済学サークルの有志で大学対抗戦へ参戦。

国際・公共政策大学院では、入学選抜試験に「ERE」を導入。公共経済プログラムでは、新卒者の場合第1次選抜の筆記試験において「ERE/ERE ミクロ・マクロ」が一定ランク基準に達している場合に専門科目の受験を免除。社会人の場合、第1次選抜において研究計画書の提出に加え「ERE/ERE ミクロ・マクロ」の結果提出を可能とした。

第8回より経済学サークルの有志で大学対抗戦に参戦。個人賞受賞。

[一橋大学の Web サイト](#)

法政大学 経済学部

[団体](#)[対抗戦](#)

ゼミ生に学習目標として継続受験を推奨。

7月と12月のERE(6科目)受験を目指して自主ゼミも開講。レベルアップを目指す継続受験がゼミの伝統に。

生協が軸となり、試験の取りまとめ・運営を実施。

[法政大学の Web サイト](#)

新潟

新潟

長岡大学 経済経営学部

[団体](#)[委託](#)

新カリキュラムに「ERE」を導入。

新カリキュラム「産学融合型専門人材開発プログラム」における「資格対応型専門教育プログラム」に、EREを導入。受験者数の拡大と一定以上のランク取得を目指す。

[長岡大学の Web サイト](#)

新潟大学 経済学部/現代社会文化研究科

[院試](#)[団体](#)[対抗戦](#)

法律から経済学まで幅広く仲間とともに学ぶサークルが中心となりEREを活用。

大学院現代社会文化研究科の入試にEREを導入。

経済学の基本、憲法・行政学など社会人として必要な基本分野までを学ぶサークル「ERENet」生が軸となり、団体申込を実施。サークルの有志で大学対抗戦へ参戦。第1回「ERENet レッド」が「政治経済攻研究会」(早稲田大学)と並び同点優勝。個人賞受賞。大学院現代社会文化研究科博士課程入試の筆記試験において、「ERE ミクロ・マクロ」の成績が一定ランク基準に達している場合は、専門科目の試験を免除。

[新潟大学の Web サイト](#)

新潟産業大学 経済学部

[単位](#)[団体](#)[委託](#)

学部生に受験を推奨。

関連する認定科目の単位認定を実施。

2004 年度より、認定科目の単位取得を実施。

[認定科目]⇒経済学部の履修科目の基礎科目であるミクロ経済学・マクロ経済学を中心に、「ERE」の出題科目との対応を考慮して学部決定されたもの。認定単位数は、1 回の受験につき、ランク C の場合は合計 10 単位以下、ランク B 以上の場合は合計 20 単位以下としている。学部では 2 年生秋以降の受験を奨励。「ERE 受験対策講座」を実施。

[新潟産業大学の Web サイト](#)

愛知

愛知大学 経済学部

[単位](#)

「キャリアスキル」として、ERE の単位認定を実施。

[愛知大学の Web サイト](#)

名古屋学院大学 経済学部

[対抗戦](#)[団体](#)

第 11 回大学対抗戦から参戦。

[名古屋学院大学の Web サイト](#)

名古屋市立大学 経済学部

[対抗戦](#)

ゼミ生の有志で第 12 回大学対抗戦から参戦。

[名古屋市立大学の Web サイト](#)

滋賀

立命館大学 経済学部/経済学研究科

[院試](#)[団体](#)[対抗戦](#)

第 1 回 ERE より団体受験。受験料補助制度を設け受験を奨励。

学力到達検証のひとつに ERE の初級レベル問題を採用し、広く活用。

学部を超えた有志で大学対抗戦に参戦。第 6 回「BKC エクテン」が準優勝。個人賞受賞。

[立命館大学の Web サイト](#)

京都

京都大学 経済学部

[対抗戦](#)

経済学部の学生が中心となり、大学対抗戦へ参戦。

大学対抗戦への参戦が先輩から後輩へ継承。第 7 回「ドラシックス」が初参加で優勝。個人賞受賞。

[京都大学の Web サイト](#)

近畿地区□国立大学

単位

学部生に学習目標として受験を推奨。

「ERE/ERE ミクロ・マクロ」を学外履修単位として認定。

「ERE/ERE ミクロ・マクロ」を学外履修単位として認定した初の大学。

認定単位数は、「ERE」について申請した場合は最大8 単位、「ERE ミクロ・マクロ」について申請した場合は最大4 単位を付与。取得ランク別に評価を実施。

同志社大学 経済学部／経済学研究科

院試

2012 年度大学院入試より E R E を活用。

2012 年度大学院入試より、過去 2 年間の E R E または E R E ミクロ・マクロの判定において A ランク以上に該当するときは、「ミクロ経済学およびマクロ経済学」の試験を免除。

[同志社大学の Web サイト](#)

龍谷大学 経済学部

団体

第 20 回 E R E より団体受験。

[龍谷大学の Web サイト](#)

大阪

追手門学院大学 経済学部

団体

委託

受験料の全額学部負担を実施。

第 34 回より経済学部 3 年(回)生全員が ERE ミクロ・マクロを団体受験。

[追手門学院大学の Web サイト](#)

大阪経済大学 経済学部

院試

団体

対抗戦

経済学部生に受験を推奨。

大学院入試代用(一部)へ「ERE」を導入。

目標ランクの取得を目指した継続受験を推奨。受験対策講座を実施。

第 16 回大学対抗戦から参戦。

[大阪経済大学の Web サイト](#)

大阪産業大学 経済学部

対抗戦

学部ゼミ生による大学対抗戦への参戦が恒例化。

[大阪産業大学の Web サイト](#)

大阪商業大学 経済学部／総合経営学部

団体

対抗戦

経済学教育を活性化させる一手段として、「ERE」の有効性に着目。

ERE を活用した公務員試験対策を実施。

「経済学検定対策」から「公務員受験対策」へつなげるカリキュラムを実践。

「ERE ミクロ・マクロ」で[B+]ランク以上の取得者へは公務員受験対策の受講料を半額免除。

2007 年度より資格取得奨励金制度が発足。学生たちが高い志を持ち継続的に学習できるようにサポートしている。

公務員を目指す有志による大学対抗戦への参戦が伝統に。個人賞受賞。

[大阪商業大学の Web サイト](#)

大阪府立大学 経済学部/経済学研究科

[院試](#)[団体](#)[委託](#)[対抗戦](#)

学部生に広く受験を推奨。受験料の全額学部負担を実施。

大学院入試に ERE を活用。

2007 年度よりミクロ・マクロの一定以上の偏差値取得を基準に、関連する科目の期末成績への一部活用を開始。第 13 回より 2 年(回)生を対象に、「ERE ミクロ・マクロ」受験料の全額学部負担を実施。生協が運営の軸となり、団体申込・委託会場を実施。

2008 年度入学者より大学院入試の口述試験時にミクロ・マクロの成績提示を活用。2010 年度募集より、大学院入試経済学研究科の共通問題を廃止し、「ERE」のミクロ・マクロの部分/「ERE ミクロ・マクロ」の一定以上の偏差値による完全代用を開始。

第 16 回大学対抗戦から参戦。

[大阪府立大学の Web サイト](#)

桃山学院大学 経済学部/経済学研究科

[院試](#)

学部生に学習目標として受験を推奨。

大学院入試に「ERE」を導入。

優秀な成績を修めた学生に対し、表彰を実施。

大学院経済学研究科の入学試験において、一定ランク以上の取得により専門科目の試験を免除。受験対策講座を実施。

[桃山学院大学の Web サイト](#)

兵庫

甲南大学 経済学部

[団体](#)

学部生に学習目標として受験を推奨。

受験を希望する学生に対して、経済学会で受験料の全額負担を実施。

受験対策講座を実施。

[甲南大学の Web サイト](#)

姫路獨協大学 人間社会学群

[委託](#)[団体](#)[単位](#)

学部生に学習目標として受験を推奨。

ERE が一定のスコアの場合、学習支援センターで特別学習奨励金を支給。

[姫路獨協大学の Web サイト](#)

岡山

岡山商科大学 経済学部

[対抗戦](#)[団体](#)

社会総合研究所が取りまとめ窓口となり、団体受験。

第 30 回から大学対抗戦へも参戦。

[岡山商科大学の Web サイト](#)

広島

広島大学 経済学部

学部生に学習目標として受験を推奨。

優秀な成績を修めた学生に対し、『かえで賞』を授与。

[広島大学の Web サイト](#)

広島経済大学 経済学部

委託

団体

学部生に受験を推奨

受験対策講座を実施。優秀な成績を修めた学生に対して、奨学補助金を支給。

[広島経済大学の Web サイト](#)

広島修道大学 経済科学部

団体

学部生に受験を推奨。受験料の全額学部負担を実施。

経済科学部現代経済学科の基礎ゼミナールで ERE 受験を推奨。受験対策講座を実施。

優秀な成績を修めた学生に対し、学長表彰を実施。

[広島修道大学の Web サイト](#)

福山大学 経済学部

団体

経済学部でキャリア形成の支援を実施。

第 17 回より団体受験を実施。

[福山大学の Web サイト](#)

山口

山口大学 経済学部

団体

学生理論経済研究会がマイクロ・マクロを団体受験。

[山口大学の Web サイト](#)

香川

香川大学 経済学部

学部生に学習目標として受験を推奨。

2007 年度よりカリキュラムの一環に ERE を導入。

[香川大学の Web サイト](#)

福岡

九州共立大学

団体

経済学部第 21 回 E R E より団体受験。

[九州共立大学の Web サイト](#)

九州産業大学 経済学部

団体

委託

学部生に広く受験を推奨。

2007 年度より対応講座を授業として実施。前期は 7 月試験を、後期は 12 月試験を修了試験として活用。キャリアサポート奨励給付金制度に ERE を導入。一定ランク以上の成績を修めた学生に対し、ランク別に奨学金を支給。

[九州産業大学の Web サイト](#)

久留米大学 経済学部

団体

委託

学部生に広く受験を推奨。

受験対策講座を実施し、ERE への対応を強化。優秀な成績を修めた学生を特待生の候補として推薦するシステムを採用。学生の質を検証するための多様な基準のひとつに、「ERE/ERE ミクロ・マクロ」を導入。

[久留米大学の Web サイト](#)

大原公務員医療専門学校 福岡校

団体

公務員対策講座の学生・社会人に受験を推奨。

第 14 回より団体申込を実施。公務員対策講座の講師である先生がリーダーとして指導、ともに受験。

[大原学園 福岡校の Web サイト](#)

大原簿記公務員専門学校 小倉校

団体

第 15 回 E R E より団体受験。

[大原学園 小倉校の Web サイト](#)

福岡カレッジ・オブ・ビジネス カレッジ科

対抗戦

委託

団体

カレッジ科の学生に受験を推奨。

有志で大学対抗戦へ参戦。

受験対策講座を実施。大学対抗戦に精鋭チームで参戦。個人賞受賞。

[福岡カレッジ・オブ・ビジネスの Web サイト](#)

長崎

長崎大学 経済学部/経済学研究科

院試

団体

委託

学部生に学習目標として受験を推奨。大学院入試に「ERE」を導入。

2009 年入学者より大学院経済学研究科一般入試において、過去 3 年以内の「ERE ミクロ・マクロ」の成績が一定ランク基準を満たした場合に経済学の筆記試験を免除。

大学生協が取りまとめ・委託会場実施をサポート。

[長崎大学の Web サイト](#)

長崎県立大学 経済学部

[団体](#)[単位](#)[対抗戦](#)[委託](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。単位認定を実施。

学部生の有志で大学対抗戦へ参戦。

一定以上のランクを取得した場合は、「ERE」で 2 単位、「ERE ミクロ・マクロ」で 1 単位を「行動科目」として単位認定。学部生の有志による大学対抗戦への参戦が伝統に。

[長崎県立大学の Web サイト](#)

大分

大分大学 経済学部

[委託](#)[団体](#)

ゼミ生に学習目標として受験を推奨。

第 13 回より団体申込を実施。

[大分大学の Web サイト](#)

熊本

熊本学園大学 経済学部

学部生に受験を推奨。ERE の利活用を推進。

第 1 回 ERE から経済学サークルの学生が中心となって、受験を継続。第 8 回 ERE でトップの成績を修めた学生のインタビューを HP 上で紹介。地元の進学塾と連携し、対策強化を図る。

[熊本学園大学の Web サイト](#)

熊本壺溪塾学園 公務員専攻科大学受験科

[対抗戦](#)

先生自らがレポート受験。教え子たちに受験を推奨。

大学対抗戦への参戦が塾生の伝統に。

公務員専攻科・大学受験科の講師である先生が ERE のリピーターであり、常にトップクラスの成績を保持。学習対策の強力なリーダーとして、熱い意欲をもって、教え子たちと切磋琢磨しながら日々のレベルアップを有言実行。

塾生・全国の大学に進学した塾生OB を束ね、大学対抗戦へ参戦。第 2 回「平成の適塾生たち」が優勝。第 4 回準優勝。個人賞受賞。

[熊本壺溪塾学園の Web サイト](#)

鹿児島

鹿児島大学 農学部

[対抗戦](#)

第 13 回大学対抗戦から参戦。

[鹿児島大学の Web サイト](#)

沖縄

沖縄大学 法経学部

委託

団体

ゼミ生に受験を推奨。

ゼミ内では 12月の受験が定例化。受験対策講座を実施。

[沖縄大学の Web サイト](#)

琉球大学 法文学部

委託

単位

団体

学部生に学習目標として受験を推奨。

受験料の一部負担を実施。

第 13 回より団体申込を実施。

ゼミ生の有志で第 16 回大学対抗戦から参戦。

[琉球大学の Web サイト](#)